

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪湖まちじゅう芸術祭 2015
事業主体 (連絡先)	諏訪湖まちじゅう芸術祭実行委員会 (事務局：諏訪商工会議所 0266-52-2155)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,217,035 円 (うち支援金：950,000 円)

事業内容

諏訪湖周 16km に 17 もの美術館・博物館が集積する地域特性を活かし、地域住民の関心と観光客の興味を惹きつけて諏訪ファンやリピーターを獲得していくため、芸術祭を 8 月 28 日～9 月 23 日に開催した。

提示すると 17 館に入館できる共通パスポートを販売し、購入者の周遊を促すために、入館数に応じて応募できるスタンプラリー形式とした。恒例の夜間開館するオープニングイベント「諏訪の長い夜」のほか、コンサートやワークショップ、遊覧船のナイトクルージング、現代アート講座など、各館を会場に多彩な 68 プログラムを実施した。



【 コンサート (儀象堂) 】

事業効果

- ① 諏訪湖アートリング協議会の体制や調整不足により制作スケジュールに遅れが生じたが、プログラムの企画運営には協議会の主体的な取り組みがあった。
- ② 共通パスポート販売枚数は 1,088 枚で、昨年比 112.5%となった。しかしながら、期間中のパスポート利用者は昨年比 93.3%に留まった。
- ③ 参加者アンケートによると、諏訪地域外からの宿泊割合は 51%で、連泊する傾向が見られた。
- ④ 各館では、地域のアマチュア演奏家によるコンサートなど地域との結びつきがより強くなっている。また、協議会主催の検定合格者がガイド役として芸術祭に参加するなど、より地域と一体となった芸術祭とすることができた。

【目標・ねらい】

- ① 諏訪湖アートリング協議会主体による事業実施
- ② 共通パスポート 1,000 枚販売
- ③ 県内外観光客の参加・消費額増
- ④ 地域住民や児童の参加増

※自己評価 【 A 】

【理由】
継続開催へ向けて事業主体の課題はあるものの、当初の目標は概ね達成することができたため。

今後の取り組み

実行委員会では、支援金終了後の継続開催については、実施主体である諏訪湖アートリング協議会の意向を尊重する。現在は、協議会内で検討中である。

次年度以降は、御柱祭や JR デスティネーションキャンペーン等の大型観光イベントが続くため、開催が決定すれば、文化的な観光イベントとして芸術祭および協議会を支援していく。パスポートの販売方法や協賛金などについては、協議会の意見を尊重し、より良い方法を検討していく。また、協議会では数年の活動の中で、諏訪地域の企業や団体との連携を図ってきたため、継続開催となればその連携を活かし、より良い芸術祭となるよう支援していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)